



ほろいずみ ニュース No. 143

発行: えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日: 令和元年7月2日
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地
TEL: 01466-2-2410 E-mail: erimomus@cocoa.ocn.ne.jp
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

体験陶芸教室を開催しました。

今年度、第1期体験陶芸教室が、郷土資料館体験学習室で(5月13日・20日・6月3日の3日間)午前・夜の2部で行われ、子供から大人まで12名が参加しました。初日、粘土を練る作業から始まり、お皿やマグカップなど、思い描いた作品の形づくり。2日目は、1日目に形づくりを行った作品の厚みなどを調整する形削り作業やマグカップの取っ手部分を取り付ける作業を行い、その後、乾燥をさせ、素焼き作業。最終日の3日目は本焼き前の大切な色づけ作業を行い、参加者は自分が思い描いた色の釉薬を選び、浸け込む作業や噴きつける作業を行いました。参加者の作品は一つも壊れることもなく、その結果、無事に完成しました。完成した作品をみた参加者は、「思っていたよりもよく出来上がった。また、参加したい」と話していました。



お皿やマグカップなどの形づくり作業



マグカップの取っ手部分の取り付け作業



釉薬に作品を浸け、色付けを行う作業



本焼きを終え、無事完成した作品

※第2期体験陶芸教室は、10月頃を予定しておりますので、陶芸に興味のある方のご参加をお待ちしております。

アイヌ語de動植物② ～ ヨシ～



ヨシは、別名アシ、キタヨシとも呼ばれるイネ科の植物で、川や湖沼（こしょう）など水辺に群落をつくります。

ヨシ群落は、水の中の栄養を吸い上げて高さ1～3mに成長し、湖沼の水質浄化に大きな役割を果たし、ヨシ群落は多くの昆虫類、コヨシキリなどの草原性鳥類の生息地、希少な鳥類であるタンチョウの繁殖地にもなっています。

アイヌ語では「サルキ」と呼ばれ、アイヌの生活では、チセ（住居）の屋根や壁の葺材として使用しました。

また、家を建てる際に、ヨシを編んで「すだれ」のようなものを作り、これを家全体に張り付けてから、屋根や壁を葺き、ルサ（草製皿）やルサシントコ（草製かご）などにも使用されています。

参考：

『アイヌ語で自然かんさつ図鑑』(帯広百年記念館)
『アイヌ語の動植物採集』(川村正一編)11

郷土資料の寄贈がありました

庶野：斎藤寅男さんより、昭和44年頃に製造された「ブラザーミシン」と船舶の航行で使用されていた「ジャイロコンパス（転輪羅針儀、回転羅針儀）」の基調な郷土資料品を寄贈していただきました。



寄贈された「ブラザーミシン」（写真上）と「ジャイロコンパス」（写真下）

7/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
○	休館日	○	○	○	○	生き物調査隊	○	休館日	○	○	○	わらしやんど事業	○	生き物調査隊	休館日	○
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	わらしやんど事業	わらしやんど事業	わらしやんど事業	○

7月～8月の
開館カレンダー